

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
2月28日発行 NO.36
文責 出崎友英

さようならの時に

ふと気がつけば、3月7日(金)の卒業式まであと1週間になりました。今、学校では卒業式に向けた準備や練習に取り組んでいます。

私が幼い頃に、「アルプスの少女ハイジ」というアニメ番組がテレビ放映されていました。私も毎週楽しみにしていました。ある週の放送で、次のような場面がありました。



ハイジはアルプスの大自然の中で、おじいさんと暮らしています。ある日の夕暮れ、ハイジはアルプスの山に沈んでいく夕日をながめていました。夕日が紅く輝いて、とても美しかったので、「ねえ、おじいさん。なぜ夕日ってあんなにきれいななの？」とたずねます。

おじいさんはハイジに「夕日は今、アルプスの山や木々、そして私たちにさようならを言っているのだよ。さようならの時、自分の一番美しい光を投げかけているんだ。お別れする時だから、自分の一番美しい姿を私たちに見せているのだよ。」と答えるのです。➤

さようならをする時、自分の一番美しい姿をしっかりと見せる。人の心の中にも同じような感情があるのではないかと、私は思います。

私たちは出会いと別れを重ねながら日々を過ごし、成長していきます。その出会いと別れから、お互いが何かを感じ、何かを学び、何かを身につけ、そして何かを残していくのです。

3年生の皆さんが、この錦ヶ丘中で出会った友達や先生たちとさようならするのが卒業式です。

卒業式での一人一人の凛とした態度、表情、服装、返事、言葉…。そのひとつひとつが、保護者の方々や先生方、後輩、そして仲間に向けて、「見てください。こんなに成長しました。」「これまで育ててくれてありがとうございます。」「3年間支えてくれてありがとう。」等の思いを伝えていくことになるのだと思います。

3年生の皆さん。照れくささやはずかしさを追い払い、一人一人が自分の一番美しい姿をしっかりと表して、やりとげた喜びや感謝の気持ちがいっぱい詰まった卒業式にしましょう。感動的な卒業式を期待しています。

1年生の職業講話がありました

2月27日(木)、1年生の「職業講話」がありました。和菓子職人、保育士、ブライダルアドバイザー、理学療法士、美容師、助産師、列車運転士、自衛隊員、消防士の9つの仕事をされている方々を講師として迎えて、それぞれの仕事の内容や、働くことの喜びや苦労などについてお話いただきました。生徒たちは興味深い表情で、お話を聞いていました。講師の皆様、ありがとうございました。



◆お知らせです。

○今週は生活委員会が「あいさつバトンリレー運動」に取り組みました。これは、あいさつの輪をクラスからクラスにつないでいくことを通して、あいさつを学校全体に広げようという新たな取り組みです。



毎朝各クラス輪番で有志が集まって、生徒昇降口と東門であいさつ運動を繰り広げました。多くの生徒たちが昇降口に並んでいる様子は、活気があって爽快でした。企画した生活委員会の皆さん、そして参加した生徒の皆さん、ありがとうございました。

○3月30日(日)、吹奏楽部「定期演奏会」が県立劇場で行われます。開場13:00、開演13:30の予定です。入場は無料です。皆様、どうぞ県立劇場にお越しいただき、吹奏楽部の演奏をご堪能ください。



人間は一生のうち、逢うべき人には必ず逢う
しかも、一瞬早過ぎず、一瞬遅すぎない時に

森 信三の言葉